

ゆのまえ 議会だより



No. 30

令和2年
5月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

議会改革で住民福祉の向上を目指す



P2 特集 1
議会改革のあゆみ

P4 特集 2
議会の情報発信を強化

P5 本会議
新規事業が多い新年度予算

P9 一般質問
新型コロナで一般質問を延期

P10 一般質問番外編
一般質問を振り返る

P14 委員会

P16 全員協議会

P18 研修

P19 一部事務組合

P20 住民の声

今号の写真

タブレット端末で議会運営を行う議員たちです。1月27日の議会臨時会から試験運用を開始し、6月から完全ペーパーレス化による経費削減(印刷費の削減や業務の効率化など)を目指します。議場では新型コロナウイルス対策でマスクを着用しています。

特集1

議会改革のあゆみ

過去に例のない抜本改革

湯前町議会は、「住民に見える議会」「住民が参加しやすい議会」「議会力・議員力の向上」の実現のため、議会改革に取り組んできました。今回の特集では、主な議会改革の取り組みを紹介します。



①選挙公報は、全候補者の公約を知る手段として、投票の判断材料になりました。郡内で唯一発行しています。

主な改革の取り組み

平成28年

9月 選挙公報発行に関する要望書提出 ①

12月 議会改革調査特別委員会を設置（1回目）

平成29年

4月 議員の特別研修の新設（個人研修）

12月 子ども議会を開催（毎年開催）②

平成30年

2月 議会だよりを大幅増ページ ③

6月 一般質問に関連質問を導入 ④

9月 一般質問をYouTube配信開始 ⑤



②中学3年生が町執行部に対し一般質問を行います。子ども達が地方自治や議会の仕事を体感し、町の問題や課題を考え、提案することが目的です。既に事業化された質問もあります。



④議員の一般質問に関連して、他の議員からも質問できます。執行部の答弁がかみ合わない場合など、議会全体で質の高い議論を目指すことが目的です。(一般質問 9ページを参照)



③分かりづらい議会の活動をきめ細かくお知らせするため、ページ数を増やしました。



⑤スマートフォンなどで、いつでもどこでも一般質問の様子が視聴できます。
(一般質問【番外編】 10ページ参照)



⑥議長の許可を受けた町長や町職員が、議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、反問することができます。
(一般質問 9ページ参照)



⑦莫大な数の資料を印刷する必要がなくなるなど、コスト削減や町執行部の業務改善の仕組みを導入しました。

令和元年
1月 議会改革調査特別委員会を設置(2回目)
6月 執行部への反問権付与 ⑥
9月 議会災害対応指針・議員行動マニュアルの策定
令和2年
1月 タブレット導入によるペーパーレス化 ⑦
2月 LINEを活用した各種通知

特集2

議会の情報発信を強化

議会ホームページを全面リニューアル

町ホームページ（HP）のリニューアルに併せて、議会HPも大幅に見直しました。スマートフォンからの閲覧画面も見やすくなっています。今後は、SNS（LINE）の活用も含めて更なる情報発信に努めます。



議会HP

<https://www.town.yunomae.lg.jp/gikai/>



議会HPから次の内容も閲覧できます。

議会とは

議会の役割
議会の運営
議会用語の解説

議会の構成

正副議長
委員会
議員名簿

議会の日程・結果

本会議の日程
委員会の日程
議決結果
賛否の状況

請願・陳情・傍聴

請願・陳情
傍聴

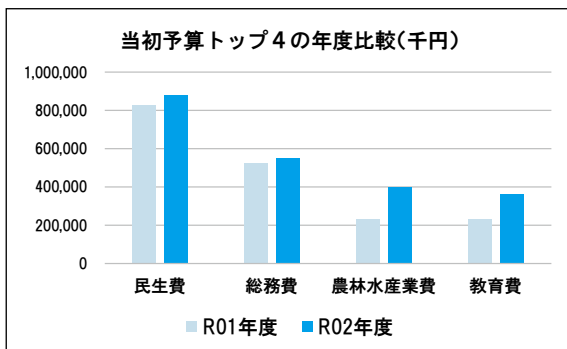
情報公開

湯前町議会基本条例
議会図書室
町例規集

新規事業が多い 新年度予算

過去最大の予算額
に新型コロナウイルスの影

3月定例会は、5日から24日まで20日間の日程で開かれました。新型コロナウイルスの影響で、会期を24日まで延長しました。一般質問は5人の予定でしたが、事態が収束しないため、延期しました。令和2年度当初予算、補正予算、条例改正などを議決しました。



補正予算

新型コロナウイルス対応への
支援

放課後児童クラブいち
早く対応

164万円

◎小学校の臨時休業により、3月2日から春休みの前日まで、平日開所するための経費。
◎市町村から事業所などへ配布する子ども用マスク、消毒液、感染症予防の広報・啓発、空気清浄機など、感染拡大防止のために必要な経費。



子育て支援に欠かせない町内
2つの学童クラブ



ふるさと納税寄附金 の活用

ふるさと応援基金積立金

1031万円

令和元年度は、1031万円を基金に積み立てました。令和2年度は、住宅リフォーム・空き家リフォーム補助、通学路のLED街灯整備への事業に本基金から充当するため、780万円を繰り入れられます。

当初予算

会計年度任用職員制度
の導入

▼臨時職員と一般職の非常勤職員(嘱託)の給与体系が改正がされ、期末手当の支給分を計上。パートタイム会計年度任用職員を採用し、期末手当の段階的な引き上げで、人件費を抑制します。

▼引き続き、業務量と職員数の適正管理が必要です。「第6次 湯前町定員適正化計画」の期間は、令和2年度～令和6年度です。

情報化計画を策定

産業の生産性向上へ

700万円

▼総合計画の策定年度に合わせ、中長期の情報化推進計画を策定します。ICT利活用施策(AIなど)、子どもや高齢者への施策、農林商工業への利活用(スマート農業)、行政防災放送設備の次期整備計画などが主な内容です。

▼議会からは、平成30年9月以降、ICT戦略の策定を提言していました。

情報発信力を強化

新ホームページに移行
維持管理費 65万円

▼令和元年度に大幅改修した町ホームページ(HP)が4月1日にリニューアルしました。スマートフォン対応、SNS活用による情報発信、防災情報など、多種にわたる情報発信を行います。

▼議会からは、平成26年以降、町HPの運用見直しやリニューアルを提言していました。



活用が期待される町の新HP

障害福祉計画を策定

令和3年度から3年間

200万円

平成30年度からの3ヶ年の現行計画(第5期)が終了する年度であり、令和3年度からの第6期計画を策定します。

介護や健康づくりの 充実を図る

高齢者福祉・介護保険
事業の計画策定

400万円

平成30年度からの3ヶ年の
現行計画(第7期)が終了する
年度であり、令和3年度から
の第8期計画を策定します。



現行計画(第7期)

介護予防に係る購入 支援

介護認定問わず

46万8000円

これまでの介護予防住宅改
修資材購入補助金制度の改正
施策です。要支援・要介護の
認定に関わらず、病気やケガ
による住宅改修や福祉用具購
入を支援します。

新たな森林事業に 取り組む

森づくり構想作成委託料

500万円

最終林型(目標)の設定、森
林管理方針、私有林取得方針
など、湯前町の森づくりの方
向性を策定します。財源には
森林環境譲与税を活用しま
す。

総合戦略の新展開

専門家派遣事業【存目】

既存事業所の経営持続力強
化や新規創業のため、各専門
家からの助言サポートを行
います。また、パッケージデ
ザインなど、商品の魅力アッ
プを図ります。

事業継承サポート事業

【存目】

商工事業者の高齢化、後継
者不足のため、親族内継承や
第三者継承など、担い手育成
と産業技術の伝承の取り組み
に対する支援を行います。

JR九州商事の森事業

▼JTの森とJR九州商事の
森の2事業で、合計873万
円の助成金を受けます。

▼JTの森事業(3241万
円)では、人工造林(6.7ha)、
防護柵設置(1200m)、下
刈間伐(51.8ha)の事業を
行います。

▼JR九州商事の森事業
(1011万円)では、人工

若者会議10万円

若者の町政参画を促し、育
成と若者に選ばれるまちづく
りを目指します。会議のテー
マを年度ごとに1つに絞り、
施策や事業を町長へ提案しま
す。その講師謝金を計上して
います。

若者雇用促進事業【存目】

町内在住の若者を雇用する
ことに対して、企業法人の雇
用に係る経費支援を行いま
す。

造林(5ha)、防護柵設置
(1200m)、下刈り(4ha)
を行います。

球磨スギ・ヒノキ需要 促進事業補助金

200万円

令和元年度までの地域産材
需要促進事業を継続する形
で、補助額を見直しました。
(町内施工業者30万円、町外
施工業者20万円)

子育て世帯の住宅建設 町営住宅建設工事の 実施設計業務【存目】

若者の子育て世帯の定住を
図るため、公営住宅建設を促
進し、支援を図ります。設計
業務の委託料を計上していま
す。

米ブランド「ぴかまる」

水稲試験栽培

15万円

新品種「ぴかまる」の米ブラ
ンド化のため、町内の農家に
委託栽培を行います。

日本遺産に係る整備 文化財関係事業

◎城泉寺休憩所、トイレ建設
工事設計業務委託150万
円



城泉寺の休憩所・トイレの建替え予定地

◎御大師堂保存修理工事監理
業務委託【存目】
◎御大師堂保存修理工事【存
目】



全面改修される御大師堂



平成3年度建築の改善センター

公共施設の大規模改修 農村環境改善センター 改修工事

- 指定避難所として課題であつた釣り天井と空調の大規模改修を行います。
- ◎天井改修工事監理業務委託 240万円
- ◎空調等改修工事監理業務委託 250万円
- ◎天井改修工事 6100万円
- ◎空調等改修工事 1億100万円

中学校改修工事

- ◎湯前中学校外部改修工事 1億円
- ◎湯前中学校外部改修工事監理業務委託 180万円



昭和56年度建築の中学校

南部地区 指定避難所の整備

旧南部保育所の改修工事 877万円

南部地区の指定避難所としての機能を充実するため、運動場のアスファルト舗装整備を行います。球磨川水系防災・減災ソフト対策等補助金（県3分の2）を活用します。



除草作業などの管理が必要な運動場

農業関連の新規事業 農業経営振興補助金の 見直し

- ◎果樹振興補助事業
- ◎鳥獣被害防止柵事業
- ◎作物規模拡大等支援事業
- ◎農耕車資格取得補助事業
- ◎高齢者園芸施設導入事業
- ◎農業研修補助事業

消防設備の更新

消防積載車と小型ポンプ 550万円

平成5年度に購入した第4分団3部（馬場）の消防積載車と小型ポンプの更新を行います。財源は電源立地地域対策交付金を活用します。

観光物産協会

「湯くとぴあ」空調工事 老朽化対応 240万円

▼平成14年に建設した当時の空調施設を取り換えます。経年的な老朽化によるものです。

▼この施設は、町の避難防災交流施設であり、指定避難所になっています。

▼水力発電所リニューアル地元振興支援事業交付金を活用します。

条例改正

インターネット使用 料を引き下げ

湯前町インターネット接続 サービスの管理及び使 用料の徴収に関する条例

インターネット接続サービス使用料（月額）を、4月分から3500円に改定します。（改正前は3700円）

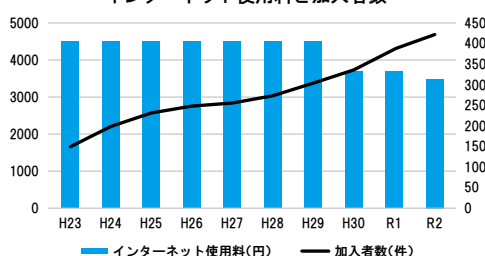
子育て支援策 学校給食費補助事業 330万円

給食の充実を図り、保護者の負担を軽減することで、子育てしやすい町づくり、少子化対策および子育て世代の定住促進を図ります。給食費の3割を町が補助します。（全員協議会 17ページ参照）

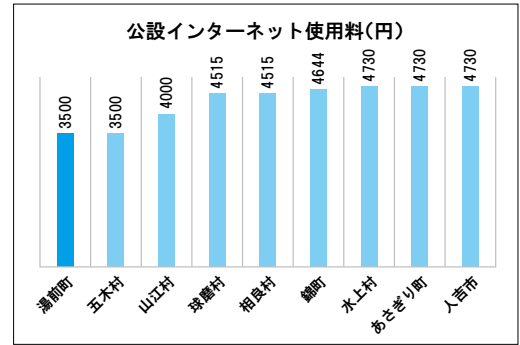
出生祝い金300万円

令和元年度の出生数は15人でした。令和2年度も20人の出生数の予算を計上しています。

インターネット使用料と加入者数



注…多良木町は民設（NTT）



敬老祝金の責任問題 湯前町長等の給与及び 旅費に関する条例の一 部を改正する条例

▼町長の給与を4月分に限り100分の5減給する条例改正を可決しました。担当職員は2月7日付けで戒告の懲戒処分になりました。

▼平成30年度から令和元年度の敬老祝金を数人に支給しておらず、公金の不適切な処理と管理が行われていました。

その他

70周年記念表彰 全国町村議会議長会

▼本町の山下力議員が全国町村議会議長会から永年功労者表彰を受けました。

▼30年以上の永きにわたり、町村議会議員として団体の意思決定、行政監視、政策提案といった議会活動に努め、地域社会の振興発展および住民福祉の向上に尽力した議員を表彰するものです。



倉本議長から表彰を伝達される山下議員

令和2年度一般会計当初予算

反対討論 金子議員

今回の予算編成には不都合な部分がある。一番は、負担金を補助金という形に名前を変えて、減額の方方向に進めていること、農業者の一人として非常に腹立たしく感じている。町の基幹産業は農業であり、しかも生産量、金額第1位は水稻。今回の予算は非常に残念であり、到底賛成することはできない。

賛成討論 椎葉議員

新たな町独自の補助事業に対して、要綱レベルの確認ができなかった。しかし、総合戦略に基づく事業でもあり、全員協議会で事前に概要説明を受けているため、これらについては今後、全員協議会を開いていただくことを前提に賛成する。

議案審議 賛否一覧

議 案	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	金子 光喜	高橋 一雄	黒木喜巳男	山下 力	倉本 豊	審議結果 (賛成：反対)
湯前町インターネット接続サービスの管理及び使用料の徴収に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（9：0）
人吉球磨定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（9：0）
令和元年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（9：0）
令和2年度一般会計当初予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	可決（8：1）
令和2年度特別会計当初予算	○	※	○	○	-	○	○	○	○	-	可決（7：0）
湯前町長等の給与及び旅費に関する条例の改正	○	※	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（8：0）
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（9：0）

○：賛成 ×：反対 -：採決なし（議長は採決に加わりません） ※：忌引欠席

新型コロナで一般質問を延期

5月以降で対応

3月定例会の一般質問は5人の議員が予定していましたが、新型コロナウイルスの対応で執行部が十分な対応ができないため、5月以降の本会議で行うことになりました。予定していた一般質問を以下に示します。

質問者(登壇順)	質問項目	通算 質問回数※
椎 葉 弘 樹	① 行財政改革から行政経営改革へ	13 (6)
森 山 宏	① LED照明 ②買物弱者対策	2 (3)
高 橋 一 雄	① 町営住宅の入居条件 ② ジェンダー教育	13 (4)
金 子 光 喜	① 町の防災対策	13 (3)
遠 坂 道 太	① まんがを活用した町づくり	12 (6)
味 岡 恭		5 (6)
山 下 力		1 (2)
黒 木 喜巳男		0 (1)
黒 木 龍 次		0 (0)
倉 本 豊		2 (0) (議 長)

※：数字は平成28年11月 新体制以降の一般質問回数(全13回)、括弧数字は平成30年9月以降の関連質問回数(全6回)

湯前町議会では反問権と関連質問を認めています。

反問権とは？

町長や職員が、議長の許可により議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、反問することができるもの。反問されることにより、議員も質問事項を十分精査した上で政策論争に臨まなければなりません。

関連質問とは？

執行機関に対する監視機能、政策提案機能を果たすため、一般質問議員の質問後に、他の議員から質問を補足するもの。一般質問を議場でひとりぼっちにしない効果的な取り組み。これは全国的にも事例は少なく、人吉球磨管内では初めての取り組みです。

議会の傍聴

議会傍聴は、受付で名前を書けば、どなたでも入場できます。議会傍聴により、執行部と議員の緊張感が高まり、質疑や答弁のレベル向上が期待できます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

来場できない方のために、湯前町議会では次の方法で議会放送を行っています。

◎ご自宅のIP告知放送
(2チャンネル)



◎YouTube動画
(「湯前町議会」で検索)



振り返る

町課題の見える化

議員の任期は4年目を迎え、その中には町長改選と元号変更という大きな節目がありました。そこで、これまで行ってきた一般質問を一覧にして、どのような争点(課題)があったのかを振り返ります。また、平成30年9月から議会改革で取り組んでいるYouTube動画配信を、議員ごとの再生リストにまとめましたのでご覧ください。

令和元年12月定例会までの一般質問

YouTube 動画配信は4定例会分(質問項目の水色箇所)



遠坂 道太 議員



YouTube 録画(再生リスト)

質問項目	年・月
①地域資源を活用した町づくり	R1.12
①町の道路整備計画	R1.9
①基幹産業である農林業に関する町長のビジョン	R1.6
①合宿誘致の方策 ②情報化の推進	H31.3
①学校教育	H30.12
①町長の産業施策に関する12年間の検証 ②農業委員会からの意見書に対する対応	H30.9
①文化財の整備 ②小中一貫教育 ③健康診断	H30.6
①少子化対策 ②農業公社のリーダー招聘	H30.3
①農業公社のリーダー招聘 ②住みたい町、帰りたい町づくり	H29.12
①農業公社の方向性 ②グリーンパレスの未利用施設	H29.9
①雇用対策	H29.6
①農業施策	H29.3

一般質問を



椎葉 弘樹 議員



YouTube 録画(再生リスト)

質問項目	年・月
①第2期総合戦略への緊急提言	R1.12
①総合計画・総合戦略の抜本見直し ②長引く補助金の適正化	R1.9
①町づくりの基本方針 ②所信表明の政策で山積する課題をどう解決するか	R1.6
①第3セクターに対する町の関与	H31.3
①町長12年間の政治姿勢	H30.12
①ICT利活用の課題と今後の対応 ②教育課の事務所移設 ③今後の若者向け住宅政策	H30.9
①空き家対策	H30.6
①住民向け行政サービスのIT利活用 ②漫画のまちづくり検証	H30.3
①学校教育の課題 ②「駅の駅」開発ビジョンと管理運営	H29.12
①人口減少対策	H29.9
①湯前町光インターネット接続サービス ②第三セクターの経営健全化	H29.6
①生活の本拠(18歳選挙権・福祉年金など) ②町長の政治姿勢	H29.3
①農業公社 ②ふるさと納税	H28.12



金子 光喜 議員



YouTube 録画(再生リスト)

質問項目	年・月
①住宅地や道路周辺の立木対策 ②町財政の見通し	R1.12
①教育環境の整備 ②農業政策	R1.9
①安全なまちづくり	R1.6
①農地流動化に向けた取り組み	H31.3
①畑作の農業振興 ②町長在任3期の総括と今後のまちづくり	H30.12
①専門職職員の広域での採用と任用	H30.9
①ふるさと納税の現状今後の対応	H30.6
①防災に関する政策 ②防犯対策	H30.3
①少子化対策	H29.12
①農業政策 ②海洋センターの利活用	H29.9
①環境美化 ②スポーツ合宿の促進	H29.6
①子育て支援	H29.3
①町の積極的な情報発信	H28.12



高橋 一雄 議員



YouTube 録画(再生リスト)

質問項目	年・月
①人口減少対策 ②ジェンダー教育	R1.12
①健康年齢の向上 ②LGBT問題 ③SDGs	R1.9
①町民憲章 ②子育て支援 ③福祉施策 ④独自財源	R1.6
①補助金等の見直し ②国民健康保険	H31.3
①人口減少対策	H30.12
①障がい者支援の取り組み ②町営住宅の改修	H30.9
①まんが美術館と学芸員 ②学生等の選挙権	H30.6
①空き家対策 ②子育て支援策	H30.3
①子どもの貧困	H29.12
①町の情報発信 ②国保税	H29.9
①補助金の経済効果の検証	H29.6
①本町が助成する商品券 ②町長の姿勢方針	H29.3
①子どもの貧困対策(給食費無料化)	H28.12



山下 力 議員



YouTube 録画(再生リスト)

質問項目	年・月
①湯前町農業再生協議会	R1.9



森山 宏 議員

質問項目	年・月
①行政区要望書 ②ストレスチェック制度	H29.12
①四大体育行事 ②レールウイングの活用	H29.6



味岡 恭 議員

質問項目	年・月
①公立多良木病院の構成町村長会議の定期開催	H30.12
①平成 30 年度施政方針・予算編成方針 ②人口減少・後継者等	H30.6
①移住定住の促進 ②公共施設	H29.12
①社会体育 ②学校教育	H29.9
①人吉球磨日本遺産・世界かんがい施設遺産 ②若者の雇用創出	H29.3



倉本 豊 議員

質問項目	年・月
①水稻の転作 ②町長の政治姿勢	H29.9
①農業公社 ②旧南部保育所跡地の利活用	H28.12

総務常任委員会

2月20日

委員長	森山宏
副委員長	黒木龍次
委員	黒木喜巳男、高橋一雄、味岡恭

次の所管事務を調査しました。

◎湯前町基金運用状況

基金運用の約2割を債券で運用

一般会計と特別会計の基金を調査

▶基金の運用は、設置目的・積立・取崩計画などを考慮しながら、第一に基金全体の安全性を念頭に、より有利な運用が図られています。

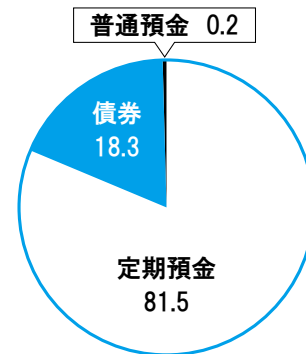
▶基金は主に定期預金と債券(国債・地方債)で運用しています。普通預金は利率が低いため、これよりも利率が高い債券で運用しています。運用利子193万円のうち、155万円が債券の利子です。

一般会計・特別会計の基金一覧(千円)

基金名	H29年度末	H30年度末
財政調整基金	912,535	878,846
減債基金	42,698	42,712
ふるさと創生基金	310,119	310,305
公共施設等整備基金	460,761	480,905
ふるさと応援基金	68,000	43,405
地域福祉基金	113,402	113,402
人材育成基金	61,500	61,500
中山間ふるさと水と土保全基金	6,833	6,833
土地開発基金	60,000	60,000
奨学金・入学準備金貸付基金	70,000	70,000
印紙購入等基金	500	500
国民健康保険給付基金	57,764	101,793
下水道事業基金	99,052	98,931
介護保険給付基金 ※	0	31,485
合計	2,263,164	2,300,617

※令和元年度に特別会計へ766万円繰入

令和2年度基金運用先の比率(%)



経済建設常任委員会

1月16日

委員長	遠坂道太
副委員長	黒木龍次
委員	山下力、味岡恭、椎葉弘樹

次の所管事務を調査しました。

◎農業振興の令和2年度からの町単独補助事業(案)

農業経営振興補助金を見直した6つの新しい補助事業	
①果樹振興補助金	苗木の購入代金の50%
②鳥獣被害防止柵事業	協定農用地以外で2a以上 上限を1戸につき30万円
③作物規模拡大等支援事業	5a以上の新規または規模拡大 した際に必要な苗代の50%
④農耕車資格取得補助事業	県立農業大学校で実施される 大型特殊免許及びけん引免許 の研修に係る受講料や及び宿 泊料
⑤高齢者園芸施設導入事業	高齢者(65歳以上)が小規模ビ ニールハウスを導入するために 必要な本体・被覆・補強資材な どの購入費 上限30万円まで50%補助
⑥農業研修補助事業	交通費、宿泊費の実費額および 研修に必要と認められる費用 国内5万円、国外10万円を上限

厚生文教常任委員会

2月3日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	高橋一雄
委員	金子光喜、森山宏、遠坂道太

次の所管事務を調査しました。

◎少子化に伴う保育園・こども園への影響

少子化の影響を受ける保育の現場

こども園・保育園の協議が必要

慈光こども園と湯前保育園の園長を招致し、現状の経営状況や課題など、町と議会で共有しました。

慈光こども園(主な意見)

- このまま園児数が減少すれば、町内の「保育園」と「こども園」の統合も考えなければならない。施設をどのように残していくかが課題。学童クラブも含めた検討が必要。
- 子ども数が減っていくと、職員数も減らしていくことになる。基本方針は、職員を大事にすること。職員の雇用の場を守りたい。
- 町外の東京5施設の園児数は215人。職員は来年度100人になる。



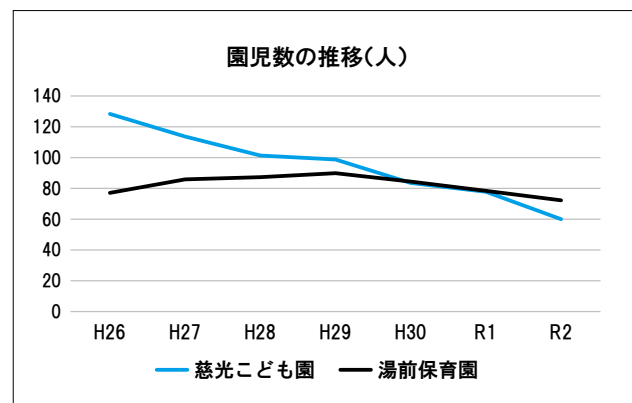
たくましく生き抜く力をはぐくむ慈光こども園

湯前保育園(主な意見)

- 今後は、規模が小さくなるかもしれないが、「保育園」と「こども園」の2つで頑張っていきたい。将来的に小規模保育園になるかもしれない。
- 「保育園」と「こども園」を保護者が選べることは良いこと。1つにしないで、規模は小さくても、2つあるほうが町の魅力としてはよい。
- 現在の保育士は全員で20人。正職員が9人、嘱託職員が11人。
- 子ども数が増えない限り経営は難しくなるため、検討が必要。こども園への移行は、保護者のニーズを聞きながら慎重に検討する。



強く明るく元気な子どもを育てる湯前保育園



全 員 協 議 会

1月27日、2月21日
3月12日、3月24日
4月7日

商工業への支援策

新型コロナウイルス対応

〔企画観光課〕

▶新型コロナウイルスの影響を受け、町内商工業者の被害状況が商工会の代表者から報告されました。特に飲食店、小売業、製造業、運送業、建設業、湯楽里に影響がでっており、被害総額は3月末で約1800万円。4月以降の影響が懸念されます。

▶4月6日に商工会から提出された要望書と国県の動向に基づき、商品券などの町支援策を検討しています。

湯楽里大改修の調査 現地視察

〔企画観光課〕建設水道課

▶営業再開前の3月12日に、全議員で主な改修箇所を視察しました。総事業費は約3億2500万円です。

▶3月15日から約2カ月ぶりに営業を再開し、4月1日に全面リニューアルオープン。これに併せて、湯楽里のホームページ（HP）もリニューアルしました。

▶湯楽里の設立目的は「地域農業再生の拠点」と「町の観光拠点」。平成10年にオープンし、21年が経過しています。

資本金の運用と借入

◎運転資金約1000万円は金融機関から借入

◎休館中の経費や備品調達の費用など約2000万円は資本金（定期預金）から支出

◎施設リニューアルに伴い宿泊料金を改定



機能が上がった各施設



リニューアルした湯楽里HPで各施設を閲覧できる



湯楽里HPの施設案内

補助金見直し方針

令和2年度の当初
予算から着手

【総務課】

▼平成28年度以降、議会から指摘してきた「補助金等の適正化方針」の策定は、令和元年度に着手し、令和2年度から運用が始まりました。

▼平成29年10月に町政推進プロジェクトチームが発足し、翌年10月に答申を受けて以降、総務課を中心に検討してきました。

▼今後は、第6期湯前町行財政改革計画（令和元年度～令和3年度）において、町単独補助金などの施策の再構築に取り組みます。

▼補助金の見直し方針は、町ホームページ（HP）から閲覧できます。（町HPから「補助金 適正化」で検索）



補助金の見直し方針

学校給食費を3割補助

令和2年度から実施

【教育課】

▼1食の単価を上げて給食の充実を図り、保護者の経済的負担を軽減するという2つの目的をもって、学校給食費の補助に取り組みます。

▼本町における学校給食は、物価の高騰や異常気象により野菜などが高騰した中、平成20年から給食費の値上げをしないまま現在に至っています。

▼今回、1食単価を上げることで、食材の選択肢が増え、地産地消にも繋がり、バランスのとれた、より良い給食が提供できます。

▼保護者の経済的負担を軽減すること、子育てしやすい町づくりの一助となります。少子化対策および子育て世代の定住促進にも繋がります。

▼本町の子どもたちを地域の皆様と育てること、食育と徳育が期待できます。

湯前町学校給食費補助金
交付要綱（抜粋）

小学校および中学校に在籍する児童および生徒の学校給食に係る経費を一部補助することにより、保護者の経済的負担を軽減し、もって学校給食の充実を図ることにより、子育て支援、少子化対策および子育て世代の定住促進を推進することを目的とする。

※補助金の額…1人につき3割以内。

1 食単価の充実

- ◎小学校 227円 → 245円（18円↑）
- ◎中学校 274円 → 297円（23円↑）

保護者負担の軽減（年間）

- ◎小学校 42,700円 → 32,340円（10,360円↓）
- ◎中学校 50,850円 → 38,500円（12,350円↓）

学校給食費の補助状況【月あたり】

人吉市	1,000 円	水上村	全額
錦町	半額	相良村	小学校：2,700 円 中学校：3,000 円
あさぎり町	150 円	球磨村	半額
多良木町	半額＋お米代	山江村	全額
湯前町	3割 ※令和2年度から	五木村	3分の2

他自治体のマンガの まちづくりを調査

令和元年度行政視察

2月5日～6日
熊本県高森町・合志市

研修内容

- ◎高森町 漫画を活用した地域づくり
- ①観光入込客数の推移
- ②くまもとメディアコンテンツ
- ③エンターテインメント業界と連携した町づくり・地域産業創出に関するプロジェクト



高森町役場での研修

- ④阿蘇フォークスクールと南阿蘇鉄道高森駅の現地視察
- ◎合志市 漫画を活用した地域づくり
- ①合志マンガミュージアムの事業内容
- ②マンガ関連施設の動向

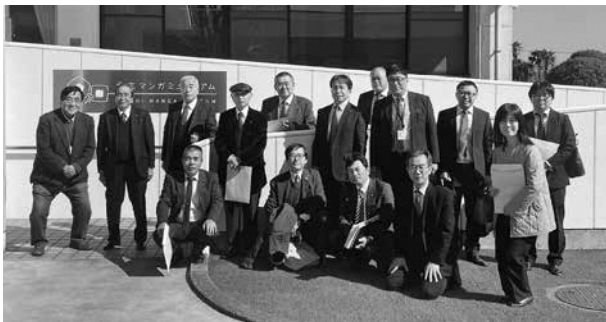


合志マンガミュージアムでの研修



課題

- ◎高森町や合志市との地域間連携をどう展開するか。
- ◎湯前町がマンガ関連施設の第1世代(先駆者)である優位性をどう活かすか。町内産業とどう連携するか。
- ◎橋本館長から提案された湯前町の方向性『新聞マンガミュージアム』、文化庁メディア芸術連携促進事業のモデル地区の対応。
- ◎高森町と合志市は、マンガに対するコンセプトやビジョン、ターゲットを明確に設定。本町もこれらの設定が必要。



橋本館長(一番左)との集合写真

国土強靭化計画の取り組み

令和元年度球磨郡町村 議会議員研修会

2月18日

講師…内閣官房 国土強靭化推進室 高石将也 参事官
演題…国土強靭化地域計画の策定

研修内容

- ①国土強靭化とその意義
- ②国土強靭化地域計画の策定のメリット
- ③国土強靭化地域計画の策定の進め方
- ④民間などの多様な取り組み

研修のポイント

◎国は平成26年6月に国土強靭化基本計画を策定しましたが、地域計画の策定はこれまで進んでいませんでした。(地域では、公共施設等維持管理計画、長寿寿命計画を策定)

◎令和2年2月1日現在で、地域計画を策定済の自治体は205。国主導で計画策定を推進しており、人吉球磨を含む多くの自治体が策定する予定です。(2月時点)

◎国土強靭化基本計画に基づく通常予算は、毎年度4兆円前後。平成30年度から令和2年度までの3か年、約1兆円の緊急予算を配分します。これらの予算は、地域計画を策定することが前提条件になっています。

◎令和2年度の当初予算は1.1兆円。関係9府省庁所管の46の交付金・補助金が予定されています。



アンジェリーク平安での研修

令和2年度 一部事務組合の当初予算と町負担金

	当初予算	負担金
公立多良木病院 企業団	46億4650万円 (収益43億6721万円) ※2億7929万円の赤字	湯前町負担金1079万3000円
人吉球磨 広域行政組合	17億1651万円	湯前町負担金6465万8000円
上球磨消防組合	6億5500万円	湯前町負担金7365万7000円 整備負担金10万2000円 公債費負担金817万3000円

人吉球磨広域行政組合議会

福寿荘の民営化始まる

社会福祉法人・絃健会が経営

▶福寿荘関連では、「医療法人 八絃会」が、1月9日づけで県から法人設立の許可を受け、「社会福祉法人 絃健会」を設立しました。1月28日に「民営化に伴う運営等に関する協定」を交わし、「公有財産無償譲渡」と「公有財産無償貸付」の仮契約を締結しました。

▶議会では、「福寿荘で使用している介護ベッド97台、車両4台など備品一式を無償譲渡する議決」および「福寿荘の土地と建物を5年間、無償貸付する議決」を、賛成多数で可決しました。また、「福寿荘の設置に関するすべての条例を4月1日から廃止する条例」を制定しました。

▶4月1日から「社会福祉法人 絃健会」による福寿荘民営化が始動しています。本町においても、安定した施設運営を引き続き支援していくことが求められます。

検診車事業を公立多良木病院へ譲渡

「公立多良木病院企業団に胸部検診車2台と格納庫を無償譲渡する議決」を、全会一致で可決しました。また基金3152万6000円も譲渡されます。これにともない、「検診車基金条例」を4月1日から廃止する条例」を制定しました。

〈広域行政議員 黒木喜・椎葉〉

上球磨消防組合議会



これから訓練棟を建設する上球磨消防署

〈上球磨消防議員 金子〉

公立多良木病院企業団議会

早急な健全財政運営を求める

当初予算可決後に附帯決議

▶附帯決議案の提出理由は、「平成29年度から3年連続の損失」「令和2年度の当初予算も約2億8千万円の損失見込みが計上され、企業団の今後の経営悪化が懸念される」などです。

▶これまでも議会は、企業団・開設者協議会などに対して「経営改善」の申し入れを行っています。

▶4年連続の損失見込みとなる令和2年度当初予算の予算執行にあたり、「十分な検証を行い、収入の増と支出の減を目指すこと」「企業団と開設者協議会との緊密な連携を図りながら早急に健全財政運営を目指すこと」を強く求めました。この附帯決議は、質疑、討論なく可決しました。

〈公立病院議員 味岡・遠坂〉

テーマを設定し、年4回にわたり住民の皆様から意見をいただきます。

テーマ 議会だよりへのご意見



下村婦人会市房漬加工組合
右田 エリ さん

○よくご覧になれますか

時々読む程度です。取材を機に、今後は読みたいと思います。

○感想は

町の広報は良いところが紹介されているのに対し、議会だよりは町の課題などが掲載されていて、少し重たく・堅い印象があります。

○興味のある記事は

議員さん個人の意見が分かるので、一般質問です。

○町への一言

新型コロナウイルスの影響で、取引先が臨時休業するなど売り先に困っています。発酵食品は感染予防対策として免疫力を高めるといわれておりますので、町民の皆様には、是非、下村婦人会の商品をご利用くださいますようお願いいたします。発送も承っておりますので、ご親族などへの贈り物にもどうぞ。

テーマ 町・議会への提案

○新型コロナウイルスの影響は

全国的に終わりが見えず、厳しい経営環境が続いています。

町内の商工業者におきましても、飲食店だけでなく小売業やサービス業、建設業などすべての業種に多大な影響が出ています。

○ご提案はありますか

提案ではありませんが、商工会としましては、商工業者が継続した経営を行うことにより、従業員の皆様の生活を守り、地域のコミュニティーを維持することにつながっていくものと考えています。

今回発行している商品券事業をはじめ、湯前町の経済が豊かになるための事業を、町と連携しながらやっていきたいと考えています。

町民の皆様も、町内商工業者のサポーターとして、湯前町のお店をご利用ください。



商工会経営指導員
國政 孝明 さん

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111

編集後記

▶春の季節、新型コロナウイルスの猛威は、「各種行事の自粛や中止」、「東京五輪の延期」など、記憶に残る年になりました。

▶学校教育では、中学3年生全員が次の進路に向けて桜を咲かせたようです。更なる成長を期待します。一方で、子どもたちは長期の休校となりました。

▶新型コロナウイルスは、地場産業にも大きな影響を与えています。中でも飲食業などに大きな打撃を受けた商工会では、「プレミアム付き商品券」などの対策に取り組まれています。非常事態のいま、住民の皆様で町内消費を喚起しましょう。

(森山)

◆議会だより調査特別委員会

私たちが編集しました。 委員長 椎葉 弘樹
副委員長 金子 光喜
委員 森山 宏
委員 遠坂 道太

